

北海海道札幌
田原科太厚子
田三郎
缺



四月十日
日

東京市日本橋區西河岸町六番地

島平
旅館

平野平四郎

平野平四郎

電話本局

特長 八番

長 一三八一番



下巻之巻末著者名
章末共千の巻の
張目共千の巻の
改訂の巻の巻の
白許の巻の巻の
の巻の巻の
四千三百十冊

即ち四千冊の巻の巻の
八の巻の巻の巻の
副

この巻の巻の巻の
巻の巻の巻の巻の
巻の巻の巻の巻の
巻の巻の巻の巻の
巻の巻の巻の巻の
巻の巻の巻の巻の
巻の巻の巻の巻の
巻の巻の巻の巻の

四十年

予の平生の志は
八子に在りしを
實

二十五年

二十一年

二十九年

二十二年

二十三年

二十一年
二十二年
二十三年

八出
二十一年

二十二年

二十三年